

# ワークショップの概要について

資料 8

## 1. 開催の目的

公共施設の在り方・再編方針を検討する上で、公共施設の在り方、市民にとって利便性が高く、相乗効果が生まれる集約化・複合化するべき公共施設や、民間活力導入を期待する施設等、多様な市民意見を伺う場としてワークショップ（WS）を実施する。

WSを通じて公共施設の在り方・提供すべき公共サービスについて議論していただく中で、地域拠点施設を核としたまちづくりについて考え、単なるアイデアで終わらせるのではなく、在り方方針等へと落とし込むことを目的とする。

## 2. 実施概要

回数 (実施時期)	全3回 ・第1回・第2回：11～1月頃 公共施設の役割整理段階 ・第3回：2～3月頃 公共施設の在り方検討段階		
対象者	公募市民 30～35名程度 ※原則全3回通しでの参加		
実施方法	グループワーク方式		
内容		テーマ（案）	検討委員会の 検討事項への反映
	第1回	<b>必要な公共サービスについて</b> ➤ 市民にとって必要なサービスは何？	⇒ これからの公共施設に求めること 公共サービスの在り方
	第2回	<b>公共サービスを提供するための機能について</b> ➤ 市民ニーズの高いサービスを提供するために必要な機能・諸室は何？ ➤ 相乗効果が高まる施設の組み合わせは？何と何が組み合わせると利便性等が高まるのか？ ➤ 集約・複合化する時に中核を担うとよい施設は何？	⇒ 相乗効果が見込まれる公共施設の組み合わせ
	第3回	<b>施設へのかかわり方について</b> ➤ 第1回、第2回で出された意見等について、アイデアの具体化や実現のためにどのようにかわっていきけるか？ ➤ 民間との連携は考えられるか？	⇒ 協働の在り方